

講義名	リゾート論			授業形態	
担当教員	西村 典芳	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

今、世界のリゾートは二極化が進んでいます。一つは欧米の超一流ホテルやアジアの高級リゾートに代表される「スーパーラグジュアリーリゾート」、もう一つは格安ホテルや旅館、海水浴場やスキー場など、いわゆる大衆向けの「エコノミリゾート」です。

世界的な傾向として、個人の所得の中でリゾート費として使われるお金は増え続けています。世界の100万世帯以上が、年間200万円超を旅行の費用に充てているという統計もあります。その半数は中国人です。これらの富裕層が利用するのが、1泊数十万円という超高級リゾート、すなわち「スーパーラグジュアリーリゾート」です。一定数の富裕層が固定客となっているので、景気の浮き沈みも乗り越え、比較的安定した経営をしています。

そのようなリゾートの概観と歴史、海外のリゾート地の現状、国内のリゾート地の特徴、国際観光やMICEとリゾートのかかわり、について学びます。

到達目標

- | | |
|----------|--|
| a. 知識・理解 | ・リゾートの定義について説明できるようになる。 |
| b. 思考・判断 | ・リゾートの歴史的な変遷を具体的に説明できるようになる。 |
| c. 関心・意欲 | ・国内外のリゾート事業の特徴を理解し、課題について述べるようになる。 |
| d. 技能・技術 | ・リゾート事業のマネジメントを自分のキャリアと関連して考えるようになる。 |
| e. その他 | ・観光産業に関連する資格取得に挑戦することができるようになる。 |
| | ・学んだマネジメントやマーケティング手法を他の業種や業態に当てはめることができるようになる。 |

提出課題

- ・毎回、授業内容の課題についてリアクションペーパーを書いてもらいます。
- ・授業内容から、あるいは自分の考えを整理してまとめて提出してください。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

- ・課題のリアクションペーパーからの疑問や理解に対して、次週の授業のはじめに解説します。
- ・質問欄に書かれた質問に対する答えも回答します。

評価の基準

- ・授業回数の3分の1（5回）以上を欠席すると期末テスト（あるいはレポート提出）の受験資格（単位）はありません。
- ・評価については、毎回の課題レポート提出、授業態度など40%、期末テスト（または期末レポート）60%として、総合評価とします。

履修にあたっての注意・助言他

- ・授業で学ぶ基本は重要ですが、観光に関する情報は日々変化しますので、常に新聞等で新しい観光の情報も入手してください。
- ・授業に関する注意は次の通りです。
- ・出席指定を行う予定です。
- ・授業中の許可した時間以外の携帯・スマホの使用は禁止します。
- ・そのほか私語、遅刻等は許可しません。注意しても改善されない場合は欠席扱いとなります。
- ・授業中、わからないところや疑問に思うことは積極的に質問してください。

教科書

・使用しない。

参考図書

その他

- ・必要に応じてプリントを配布します。
- ・参考文献・・・必要に応じて紹介します。

授業計画

1. はじめに
スーパーラグジュアリーリゾートとは
2. 今、なぜリゾート開発が重要なのか？
日本がリゾート開発に力を入れる理由
3. 世界のビーチリゾートの特徴
アジアのスーパーラグジュアリーリゾート
4. 世界と日本のスキーリゾートを比較
日本と世界のスキー場は違い
5. 街としてのスーパーラグジュアリーリゾート
街そのものが魅力的なリゾート
6. 都市型ホテルの魅力
高級ホテルのKFS（Key Factor for Success）とは
7. 多様化するスーパーラグジュアリーリゾート
クルーズ・豪華列車
8. 日本のリゾート開発の課題
「構想力」で日本を立て直す
9. リゾート事例研究
クラブメッド
10. リゾート事例研究
リゾートトラスト
11. リゾートの新しい潮流 ・IR（カジノを含む統合型リゾート）
IRの現状と課題
12. リゾートの新しい潮流 ・IR（カジノを含む統合型リゾート）
シンガポールに見るIR（統合型リゾート）導入による観光振興
13. リゾート事例研究
ROKU RESORT
14. リゾート事例研究

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・毎回の授業内容が変わるため、必ず予習、復習が必要です。
- ・観光に関する情報は日々新しくなっていますので、教科書以外にも新聞やメディアのニュースを積極的に読んで入手してください。
- 具体的には
- ・授業で学んだ内容のポイントを整理してまとめてください。2時間程度
- ・予習として、次回の授業範囲をよく読み内容を整理してください。2時間程度

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

リゾートとは、そもそも何なのか、その歴史や意義、世界のリゾート地の盛り立ちを多角的に分析して、リゾートの概観と歴史、海外のリゾート地の開発形態と現状、国内のリゾート地の特徴、国際観光やMICEとリゾートのかかわり、について学び、リゾートの全体を理解することで、日本のリゾートについて学ぶことができる。リゾート経営の方法や事例から、日本におけるリゾートについての在り方を考える。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

この授業は現状では、対面授業で出欠や課題提出でICTを活用することがあります。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
旅行会社の経営に26年間携わり、心と体の健康のための新しいツーリズム、「ウェルネスツーリズム」を研究し、地域の健康づくりを通じて活性化の手伝いをしています。

備考
